

2021年度 日本工学院専門学校											
デザイン科 プロダクトデザイン専攻											
デザイン研究3											
対象	2年次	開講期	後期	区分	必修	種別	講義	時間数	30	単位	2
担当教員	加賀 武見			実務 経験	有	職種	デザイナー				
授業概要											
この科目を受講する学生は、様々なプロダクトデザイナーの作品を考察し、プロダクトデザインに関する知識を学びます。これから経験していく仕事の現場で、役に立つ知識と考え方を学び、向上することになる。プロダクトデザイナーの制作工程、実例として、スケッチや図面を紹介し「商品開発」に関連する知識を理解し、把握できるようになる。プロの仕事企画から実施に至るまでの一連の行程、手法、計画をまとめる力を身に付けことができるようになるのがねらいである。											
到達目標											
学生が、様々なプロダクトデザイナーの実際の仕事のスケッチ、写真、図面を理解します。各分野のデザイン、提案、企画を理解し、ワークショップを実施して、その成果をまとめてプレゼンテーションができるようになります。社会で活動するために必要な知識と理解を具体的に修得すること、広くデザインの業界の仕事を理解することができるようになることを目標にしている。											
授業方法											
講師から、各分野代表する3人のプロダクトデザイナーを例にあげて、その解説を受けます、内容によって、スケッチ、写真、図面を考察し、理解を深めます。授業中の学生間・教員と学生のコミュニケーションから学びを深め、「プロダクトデザインの業界の知識」を育成していきます。この授業に主体的に参加する学生が、自分の「情報収集能力」が向上できることを目指す。											
成績評価方法											
試験・レポート ワーク・小テスト 平常点	60% 30% 10%	レポート・試験・課題を総合的に評価する 授業内容の理解度を確認するために実施する 積極的な授業参加度、授業態度によって評価する									
履修上の注意											
中級の段階の学生にプロダクトデザイナーの仕事から、具体的に実施された作品の資料に触れてもらう機会になります。授業中の私語や受講態度などには厳しく対応する。理由のない遅刻や欠席は認めない。授業に出席するだけでなく、社会への移行を前提とした受講マナーで授業に参加することを求める（詳しくは、最初の授業で説明）。社会の動き、情報を収集し、広くプロダクトデザイナーの今後の推移について考えること。ただし、授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。											
教科書教材											
参考作品・参考資料等は、授業中に配布、掲示する。											
回数	授業計画										
第1回	デザイナー紹介解説 / スケッチ、写真、図面作品などデザインの紹介										
第2回	制作の工程 / スケッチ模写し、図面トレース										
第3回	実例の見せ方 / スケッチ模写し、図面トレース										
第4回	ワーク作業 / ワークショップ①										
第5回	デザイナー紹介解説 / スケッチ、写真、図面作品などデザインの紹介										
第6回	制作の工程 / スケッチ模写し、図面トレース										

2021年度 日本工学院専門学校	
デザイン科 プロダクトデザイン専攻	
デザイン研究 3	
第7回	実例の見せ方 / スケッチ模写し、図面トレース
第8回	ワーク作業 / ワークショップ②
第9回	デザイナー紹介解説 / スケッチ、写真、図面作品などデザインの紹介
第10回	制作の工程 / スケッチ模写し、図面トレース
第11回	実例の見せ方 / スケッチ模写し、図面トレース
第12回	ワーク作業 / ワークショップ③
第13回	欧州デザイナー紹介解説 / スケッチ、写真、図面などデザインの紹介
第14回	北米デザイナー紹介解説 / スケッチ、写真、図面などデザインの紹介
第15回	アジアデザイナー紹介解説 / スケッチ、写真、図面などデザインの紹介